

2022 年 3 月 10 日

日本郵便株式会社
日本郵政不動産株式会社

「広島駅南口計画（仮称）」の建物名称の決定および計画概要について

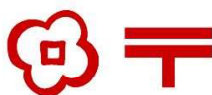
日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）と日本郵政不動産株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 岩崎 芳史）は、2019 年 5 月 23 日発表のプレスリリース「広島駅南口における開発計画について」でお知らせのとおり、広島駅南口広場に接している広島東郵便局跡地において「広島駅南口計画（仮称）」として建設計画を推進してきましたが、この度、建物の名称を「広島JPビルディング」に決定しましたのでお知らせします。

「広島JPビルディング」は、「国際平和文化都市」を目指す広島の陸の玄関口である広島駅周辺地区に、新たなランドマークとなる先進的なオフィスビルを目指し、利便性の高いワークプレイスとにぎわいをお届けします。

《広島JPビルディング（ロゴデザイン）》

HIROSHIMA JP BUILDING

《建物外観イメージ》



郵政創業150年

《建物外観イメージ（夜景）》



■ 建物

周辺ビル、開発計画および整備事業との調和を図り、街づくりの一端として機能発揮できるよう工夫します。

■ 高層部

6階から19階には、大型のオフィスフロアプレート（基準階面積専有部 約 1,530 m²（約 460 坪））として開放的な無柱空間を準備します。

また、6階には客席予定数 180 席のテナント専用食堂やカフェテリアを設け、オフィスワーカーのためのサポートを充実させます。

■ 低層部

広島駅南口広場から人の流れが連続するように、街に開かれた、緑豊かな公開空地や歩行者空間を整備し、1、2階の店舗と併せて「新たな名所」となることを目指します。なお、1階には郵便局の開局を予定しています。

■ 自走式駐車場の完備

3階から5階には利便性の高い自走式駐車場を完備し、オフィステナントの機動力発揮を支援します。この駐車場の壁面の一部には、時間の経過とともに育つ豊かで大規模な壁面緑化を配置し、公開空地の植栽と併せて、この場所が都会のオアシスとなるように取り組みます。

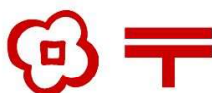
■ 詳細は[別紙](#)をご覧ください。

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社
不動産部 事業運営担当
電話：03-3477-0820

【入居などに関するお問い合わせ先】

日本郵政不動産株式会社
DX推進室
電話：03-6281-9003

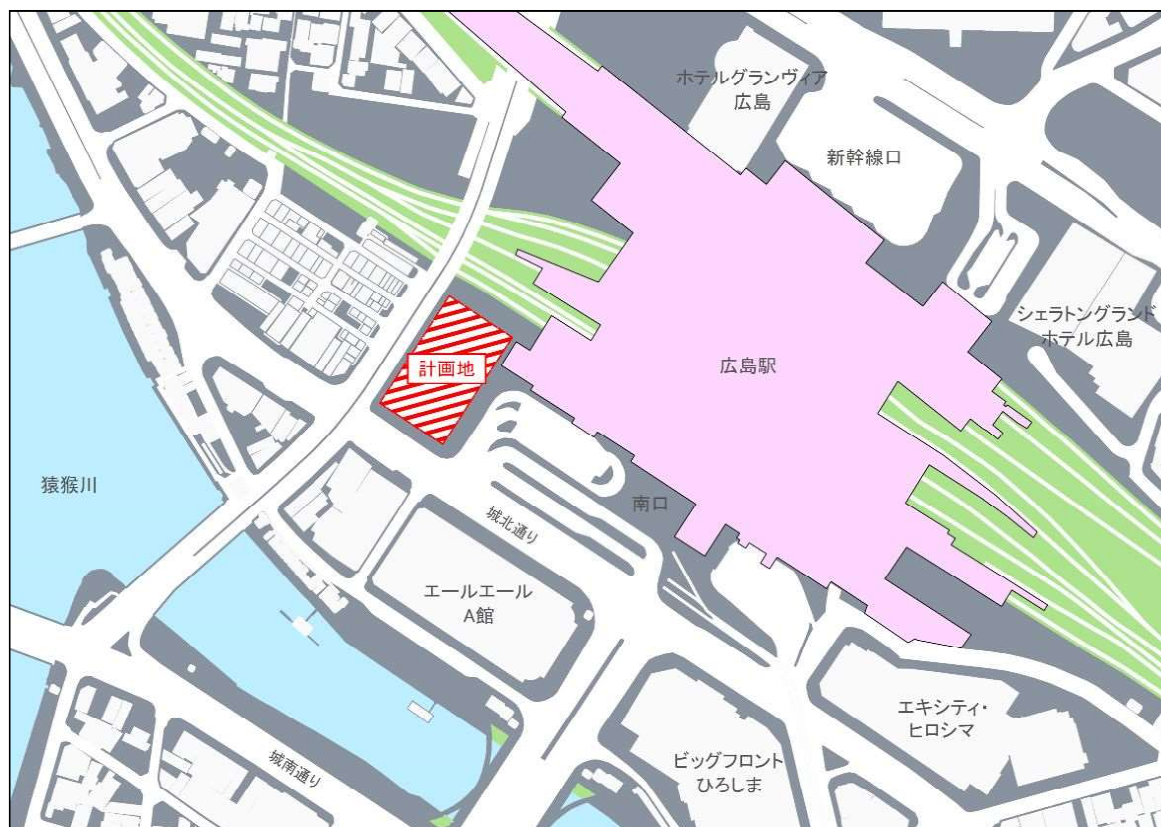


郵政創業150年

1 計画の概要

所在地： 広島県広島市南区松原町2番62号
名称： 広島JPビルディング
事業主： 日本郵便株式会社
プロジェクトマネジメント： 日本郵政不動産株式会社
敷地面積： 約 4,200㎡
延床面積： 約 44,200㎡
構造規模： 鉄骨造、地上19階、塔屋2階
用途： 事務所、店舗、自走式駐車場
フロア構成： 1階 店舗、郵便局
2階 店舗、オフィスエントランス
3階～5階 自走式駐車場
6階 テナント専用食堂・カフェテリア、事務所
7階～19階 事務所
竣工日： 2022年8月末日（予定）

《位置図》



2 広島駅周辺地区の街づくりへの貢献

広島駅周辺地区の良好な環境づくりや新たな魅力づくりに取り組みます。

地区の価値を維持・向上させるために、広島駅南口広場に面して立体的な公開空地を整備し、エスカレーター周りを吹き抜け空間とすることで、憩いとにぎわいが立体的に連続する魅力ある空間を創造します。

JR 広島駅の新駅ビル完成時には、広島駅自由通路を中心に計画されているペDESTリアンデッキで接続する予定です。

2 階レベルの歩行者ネットワークによる交通インフラの基盤となる「場」を提供し、沿線地域の利便性の確保やにぎわいの創出に貢献します。

《2 階デッキ接続イメージ》

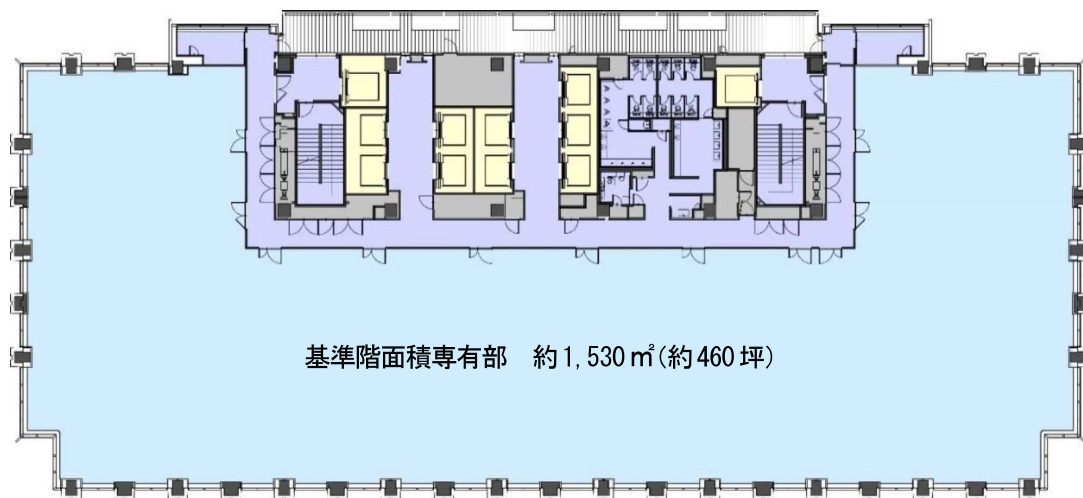


《低層部のにぎわいイメージ》



3 ビルの特徴

《基準階平面図》



4,000 ㎡超の敷地を活かし、広島エリアでは貴重といえる大型のオフィスフロアプレートを実現しました。

お客さまの様々なニーズに合わせ、最大 11 分割対応可能（最小区画：約 118 ㎡（約 36 坪））としています。

使いやすさを実現した開放的な無柱空間のワークプレイスは、お客さまのレイアウトに柔軟に対応でき、快適なオフィス空間を実現します。

《テナント専用食堂・カフェエリア（6 階）》

オフィスワーカーのためのサポート施設として、ビル内でランチタイムを過ごせる便利な食堂を完備しました。

調理中も楽しめるライブスタイルのキッチンで臨場感を演出するとともに、外の光を印象的に取り入れ、ゾーンごとに異なる居心地が楽しめる空間としています。



《オフィスエントランス（2 階）》



2 階オフィスエントランスホールは、瀬戸内海の風景を代表する「多島美」を抽象的に表現したクラフトウォールを手すきの和紙を用いてデザインし、温かみのある空間でオフィスワーカーや来館者をお迎えします。

エレベーターホール正面壁のデザインは、広島を代表する戦国武将である毛利元就の「三本の矢」にちなみ、3 本のラインをモチーフとした、特徴的で奥行感のある空間を演出しています。